

第8回新湊みなとまちづくり戦略会議議事録

日時：平成19年11月15日（木）

午後2時～午後3時15分

場所：日本海交流センター

事務局：ただいまから、第8回新湊みなとまちづくり戦略会議を開催いたします。

事務局：～出席アドバイザー、委員の紹介～

事務局： それでは、事務局を代表いたしまして、産業経済部次長がごあいさつを申し上げます。

次長： 皆さん、今日はお忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。また、アドバイザーの伏木富山港湾事務所から出席を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、前回の戦略会議は、5月14日に開催させていただきました。この間、前回の会議で承認をいただきました「ワーキング部会」を設置させていただき、部会委員において、「市街地への誘導案内板の設置箇所に関する調査・検討」を継続的に実施されてまいりました。

そして、この度、報告書が完成したことから、本日ワーキング部会委員の代表から、戦略会議委員長へ提出される予定になっております。

海王丸パークの観光客を新湊地区中心市街地に引き入れ、地域を活性化させる取組は、新湊みなとまちづくり方策に掲げた「臨海部と中心市街地との連携によるまちづくり」という大変重要な目標であり、今日は、その報告書の内容について、市へ提出する前に戦略会議委員の皆様やアドバイザーの皆様からご意見や助言をいただき、報告書に取り込んでいきたいと考えております。

最後になりますが、皆様方におかれましては、今日の議題に対して、積極的にご発言いただき、方策に掲載された事業が1つでも多く実現に向けて動き出しますようお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

事務局： 議事に入ります前に、前回の戦略会議でお図りしましたように、6月から9月までの間、ワーキング部会において、「市街地への案内板の設置箇所に関する調査」を行い、本日、ワーキング部会を代表して、

商店街部門代表と観光部門代表が調査報告書の提出にお見えです。

ここで、お二人の委員から、戦略会議委員長に報告書の提出を行います。

～ワーキング委員から戦略会議委員長へ報告書の提出～

事務局： それでは、さっそく議事に移りたいと思います。委員長、よろしくお願いいたします。

委員長： よろしくお願ひします。今ほど報告書をいただきました。私もワーキング部会には参加させていただきましたが、大変熱心にそして活発に意見交換がされておりました。今回の会議では、その報告書の中身を事務局から説明していただいて、この会で意見を出していただきたいと思います。

それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局： それでは、市街地への誘導案内板の設置箇所に関する報告書についてご説明申し上げます。前回の戦略会議でワーキング部会の設置についてご承認いただき、第1回ワーキング部会を6月17日（日）に開催させていただきました。第1回ワーキング部会では、部会委員が海王丸パークに集まり、以後、市街地までの誘導案内板の設置箇所について、現地調査を行っております。第1回の部会で調査された設置箇所について、多くの箇所が重なっていることから、7月21日（土）に商船高専の委員2名が設置箇所の統合作業を行っております。そして第2回ワーキング部会ですが、8月21日（火）の午後7時30分から新湊庁舎で開催しております。内容につきましては、報告書の内容の検討でございます。第3回のワーキング部会については、第2回の部会で出されました意見を取り入れ、報告書の内容について再検討を行っております。以上がワーキング部会の経過報告でございます。それでは、順に報告書に基づき、設置箇所についてご説明させていただきます。

～以後、パワーポイントを利用して、全32箇所を説明。～

委員長： ありがとうございます。私も会議に出させていただきましたが、これは大変な作業です。委員から意見があればお願いします。

委員： 川の駅ができれば、観光船で市街地へ来る人できる。川の駅で降り

る人にも分かる案内板の整備も必要になってくると思う。

委員 : 道路関係の話だが、新湊地区の一方通行が流れを止めている。立町通りの一方通行だけでも解除したほうがいい。

委員 : 2年前くらいに、市長に対して東西埋立地の利活用で報告書を出させていただいたことがある。その時、学生と市内の内川などを見て回ったが、案内板に統一性がなかった。せっかく作るのであれば統一したものにしたいほうがいい。

委員 : 先月、倉敷の美観地区に行ってきたが、とてもよかった。運河があって新湊とよく似ていた。内川で船に乗ると、いい景観とそうでない景観がある。協力を願って、そうでない家には花を飾るなど景観の統一が必要だ。案内板は、形で見せたり、新湊らしいものもいい。看板を見るだけでも楽しいというものもいい。

委員 : 案内板は日本語の表記のみということであれば、絵を描いて誰もが分かるように工夫をしたほうがいい。それと、距離を表記するのか、徒歩何分と表記するのか。

事務局 : レンタサイクルの計画もあり、約〇メートルのように、距離表記にしたいと考えている。

委員 : 案内板のデザインは、大きな観光地を参考にしたいほうがいいと思う。例えば、金沢とか。

委員 : 案内板の設置箇所の調査については、細かくてすばらしい。

委員長 : 先ほど、景観の話も出ましたが、これは内川だけでなく、港にも通じる。港に変な配色の工場ができて困る。

それでは、案内板については、これでよろしいということで。

事務局 : それでは、今ほどいただいた、「川の駅完成後、遊覧船等を利用して中心市街地へ訪れる観光客にも対応できるよう、川の駅から商店街や内川へ誘導する案内板の整備も検討すること。」、「案内板のデザインには絵を描くなど、

ユニークな表現にするとともに、新湊らしいデザインも考慮すること。」「案内板のデザインは、金沢や京都など、観光都市のデザインを参考にすること。」「市内の案内板すべてに統一性を持たせること。」「距離的な表記は、自転車の利用者にも配慮するため、○メートルとし、徒歩○分の表記は使用しないこと。」という意見を付記して、都市計画課へ提出させていただきます。

～伏木富山港湾事務所からシンポジウムのお知らせ～

事務局： 次回の会議は、年明けを予定しております。それでは、閉会いたします。ありがとうございました。